



大正小だより

【特別号】

学校評価特集号

結果をもとに、次年度へ

本校では、毎年3学期に、大正小学校教育を振り返り、次年度への方向性を確認しています。

保護者の皆様には、1/20～1/31の間に、学校評価・保護者アンケートにご協力いただきました。また、学校運営協議会委員の皆様には、2/21に学校関係者評価委員会にて、貴重なご意見をいただきました。

下記に結果の概要と今後の方向性についてまとめました。保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様、お忙しい中お世話になり、ありがとうございました。

◇学校評価アンケート結果（保護者対象、回答期間 1/20～1/31）

【学校教育】

アンケート項目		肯定	否定	不明
学校教育	1 学校は、教育目標、教育方針等を保護者・地域に伝えている。	87%	6%	7%
	2 学校は、一人一人の子どもたちを大切に教育している。	91%	6%	3%
	3 学校は、授業を工夫し、子どもに学力を身に付けている。	87%	6%	7%
	4 校舎内は、学習環境が整い、きれいに掃除されている。	88%	8%	4%
	5 学校は、児童の安全や健康に配慮している。	91%	6%	3%
	6 学校は、保護者や地域との関わりを大切にしながら教育している。	87%	6%	7%
	7 学校は、「通信」や「ホームページ」などで、学校の様子を伝えている。	89%	7%	4%

※肯定評価90%以上は青枠 ※肯定評価80%以下・否定評価20%以上は赤枠

学校教育については、特に児童の安全や健康への配慮、一人一人を大切に教育について高評価でした。

【家庭教育】

アンケート項目		肯定	否定	不明
家庭教育	8 我が子は、学校へ行くのを楽しみにしている。	85%	14%	1%
	9 我が子は、きまりを守って仲よく過ごしている。	90%	8%	2%
	10 我が子は、あいさつや返事がしっかりできている。	86%	13%	1%
	11 我が子には、人を思いやる優しさが育っている。	95%	4%	1%
	12 我が子は、授業に集中して学習している。	77%	15%	7%
	13 我が子は、進んで意見を発表している。	69%	23%	9%
	14 我が子は、学習内容を理解している。	79%	17%	4%
	15 我が子は、家で本を読んでいる。	39%	61%	0%
	16 我が子は、家で学習（宿題等）をしている。	87%	13%	0%
	17 我が子は、正しい言葉づかいで話している。	71%	28%	2%
	18 我が子には、基本的な生活の習慣、ルールなどが身に付いている。	86%	14%	0%
	19 我が子の、持ち物やお金の使い方について把握している。	91%	7%	2%
20 我が子の、スマートフォンやネット利用の状況を把握している。	89%	7%	4%	

※肯定評価90%以上は青枠 ※肯定評価80%以下・否定評価20%以上は赤枠

きまりを守る、思いやり、持ち物やお金の使い方については、高い数値となっています。

家庭での読書については、特に低い数値となっています。

☆児童アンケート結果【全校】

今年度も、児童にアンケート（全12項目）を取り、一人一人の意識を確認しました。下記のとおり、できている項目とできていない項目がはっきり分かれています。

アンケート項目	肯定	否定
1 学校に行くのが楽しい。	80%	20%
2 授業に集中している。	91%	9%
3 授業がよくわかる。	91%	9%
4 友達の前で、自分の考えや意見を発表している。	82%	18%
5 学校の宿題をしている。	93%	7%
6 読書をしている。	68%	32%
7 人にやさしくしている。	95%	5%
8 出会った人に自分からあいさつをしている。「ニコペコあいさつ」「先取りあいさつ」	94%	6%
9 学校のきまりを守るようにしている。	94%	6%
10 朝ごはんを毎日食べている。	93%	7%
11 家族と学校でのできごとについて話をしている。	77%	23%
12 先生は、あなたのよいところをみとめてくれると思う。	88%	12%

多くの項目で、90%以上の肯定評価となっています。一方で、ここでも昨年度に引き続き、読書への意識の低さが際立っています。また、学校のできごとについて、家庭で話さない児童が多いという結果が見られます。

保護者・児童アンケートより

一人一人を大切にしたい教育には高い評価をいただいています

一人一人の子どもを大切にしている項目について91%の肯定的な評価をいただいています。児童アンケートでは、きまりを守ったり、授業に集中したりしている項目について肯定的な回答が多いです。

ただ、児童アンケートで20%が「学校に行くことが楽しい」に否定的な回答でした。5人に1人が楽しいと思わず学校に通学していることとなります。「楽しい」には様々な尺度があると思いますが、だれもが楽しい気持ちで学校生活を送ってほしいと願っています。

次年度は、楽しく登校できるような通学班の工夫、休み時間を有意義に過ごせる異年齢班活動など、「楽しい」が増える活動を工夫していきます。

◇学校関係者評価結果(学校運営協議会委員様、2/21)

学校関係者評価シート

評価領域	内部評価	関係者評価	コメント
【重点目標1】 確かな学力をはぐくむ ○学力充実○授業づくり(重点研究) ○読書活動	B	A	・読書は大変よい取組(読み聞かせ、ちよこブック等)であるので、家庭の啓発も含め、継続的な取組をしてほしい。 ・読書について、子どもたちに読みたい本の調査をしてもよい。 ・学力差が出ないように、家庭学習の大切さも含め、学習習慣ができるような取組が必要である。
【重点目標2】 一人ひとりを大切に、個性や能力を伸ばす ○特別支援教育	A	A	・一人ひとりの細かなところも見ている。継続してほしい。
【重点目標3】 豊かな人間性と社会性を育む ○人権教育 ○生徒指導 ○教育相談 ○特別活動	B	A	・友達といることが楽しいと思えるような取組が必要である。 ・楽しいと思える学校は大切であるが、厳しさも必要なのではないか。
【重点目標4】 健やかな身体をはぐくみ、命を守る ○体力 ○食育 ○健康安全教育	B	A	・全国的に体力が落ちているとも聞いている。食事が体力向上に向けて大切なことなので、食の指導は充実してほしい。 ・熱中症対策が大変であるが、外で遊べる子を増やしてほしい。
【重点目標5】 社会の変化や現代的な諸課題に柔軟に対応する ○ICT教育 ○関係機関連携	B	A	・フリースクール、こども園、中学校等たくさん連携するところがあって大変だが、引き続き連携を大切にほしい。 ・タブレットの利用が進むとコミュニケーションが減る可能性があるため配慮して指導してほしい。
【重点目標6】 学校の教育力の向上を図る ○広報活動○校種間連携○人材育成 ○働き方改革○共同学校事務室	B	A	・大正だよりで学校の取組がよく分かる。特に校歌の説明は歴史を知るために大変よかった。

◇教育反省…2学期の教職員の自己評価を点数化した数値(4段階評価)

◇評価について(めやす)

- A…十分達成できている(95%以上)
- B…ほぼ達成できている(80%以上)
- C…達成できている(70%以上)
- D…達成できていない

学校運営協議会委員様には学校の取組について肯定的な意見をいただきました。

しかし、学力差が出ないような取組、タブレットを中心としたICTの利用とともにアナログの大切さについては多くのご意見をいただきました。次年度につなげていきます。